

高等学校部会東三河地区第2回協議会報告

11月13日(金)、豊橋東高等学校多目的室にて第2回地区協議会を行いました。

はじめに各大会、研究会の報告などを行った後、ビブリオバトルについての講演と実践へと進みました。

1 講演会

講師 ビブリオバトル普及委員会

岐阜市立女子短期大学生活デザイン学科専任講師 坂本牧葉氏

演題 「ビブリオバトルを楽しもうー書評コミュニケーションゲームのしくみー」
〈講師紹介〉

ビブリオバトル東海地区副代表

平成25年から図書サークル Love♡Rary のメンバーとともにビブリオバトルに取り組む。ワークショップや講演など岐阜市を中心に東海地区のビブリオバトルの普及に取り組んでいる。

〈講演内容〉

ビブリオバトルの発祥からお話が始まり、公式ルールを教えてくださいました。また、発表の読み原稿は用意しないなどの注意点や、話すことのポイントなどを簡潔にまとめていただき、参加者のアンケートからは「わかりやすかった。」との内容が多く寄せられました。



2 実践

講師を含む3人のバトラーとその他の参加者観覧者による実践。

5分間の発表→3分間のディスカッション→チャンプ本の投票



今回はプロジェクターでタイマーを表示し、参加者に見える画面でカウントダウンする形式での開催でした。ディスカッションは本の選定理由や内容などに関する質疑に応答するという形で行われました。ビブリオバトルのおもしろさは、インフォーマル・コミュニケーションであると聞きますが、実際にバトラーとして参加した感想は、「やってみなけりゃわからない。」と、実施の価値ありと感じました。



3 まとめ

学校で行う場合に注意すべき点は、教員による指導（課題図書の選定、発表内容の添削など）を控えて、場作りをするという観点で見守ることだと伺いました。そうすることで、多種多様な図書との出会い、意見との出会いが可能となるのではないのでしょうか。今回の講演が、まだ実施してない学校でのビブリオバトルに対する認識の一助になったと思います。